

今シーズン爆発的に増えたアイスの仲間と満喫した

南アルプス・芦安・上荒井沢①「トリコルネ」

【日 時】2012年2月11日

【メンバー】L田邊・飯田・長谷川・小川・栗原・福永・高橋

高橋(写真・記)

2月11日「トリコルネ」

今シーズンから急激に増加したアイスメンバー。特に女性が大挙して参入。アイスおじさんとしては嬉しい限り。今回は一泊組6名、明日来る日帰り組3名を加えると総勢延べ10名もの参加。もう10年近くになるか? 「荒川出合」で8~9人位が集まって楽しくやった記憶があるが、今回はそれ以来の大集合だ。

当初は久しぶりに「尾白川下流域」を考えていたのだが、計画を発表したところ「南アルプス・スーパー林道」は土砂崩れ工事の為、いつもの歩きスタートの「矢立石」までも4時間近くのアムバイトを要するとの情報が寄せられた。これには堪らずアプローチも短い「芦安・上荒井沢」に変更せざるを得なくなった。前夜は竜王のとある公園の片隅にテントを張らせてもらい早朝に出発。早起きのお陰で氷瀑には一番乗りを果たす事が出来た。我々は大所帯なのでこれは大きかった。台風や大雨で大荒れの「上荒井沢」沿いの林道はズタズタ…。嘗ては滝まで車で入れ、窓からビレー出来たこと等、夢のよう。しかし、勝手知ったる我らは迷うことなく、25分ほどで「トリコルネ」の頭が見える地点まで辿り着くことが出来た。落口までバッチリ氷着いた滝。。



今シーズンからマイバイル・アイゼンを買い揃え、フリノリの栗ちゃんがヨダレを流しながら? ロープを引き、25分ほどで確保体勢に。見事なクライミングでした。



小川君もアルパインスタイルのザックを背負ってのクライム。
(滝の上部から田邊君が腰ダメ撮影)

私は今回で3回目のトリコルネだが、今日のトリコルネは数年来の良い出来のようだ。本来的に傾斜が一定なので、リズムが取り易く、登り易い氷だ。4級、高さ考慮しても4級+皆、楽しく「ああだ、こうだ」言いながら楽しく時を過ごす。終えて、昨日の公園に戻り「キムチすき焼き」でお腹を膨らませた。このところ、泊まり山行の少ない私にとっては久しぶりの寛ぎの時間だった。

南アルプス・芦安・上荒井沢②[カモシカルンゼ]

【日 時】2012年2月11日

【メンバー】L田邊・飯田・小川・栗原・福永・高橋(写真・記)
 笹川・大田原・佐藤(里)

日帰りパーティーを昨日我々が登った「トリコルネ」に残して、連泊組は10分ほど先の「カモシカルンゼ」に向う。既にワンパーティーが取り付いていたが、ここは比較的幅のある氷なので、ゲレンデの共有を持ちかけると快く応じてくれた。

昨日に続いて今日も栗ちゃんがトップ。この滝は若干起伏があるので、傾斜が一定な昨日の「トリコルネ」に比べて登りづらい感じだが、まずまず無難に登り終え、トップロープを張ってくれる。やがて、先ほどまで「トリコルネ」で遊んでいた「山登魂・治田氏」と若手Pが現れる。「ヤアヤア」とエールを交換した後、治田さんがガシガシと左端に登り始める。流石にアルパインで鍛え込んだ登りだ。途中、うちの女性を励ましながら余裕のピッチだ。

小川・佐藤(里)さんにもリードの練習をしてもらおう。トータル的にはまだまだ課題も多いが、登りの方は随分と進歩している感じだ。暫くすると、日帰りパーティーも「トリコルネ」から此方へ移って来て、合流し、コーヒブレイクを交えながらワイワイ賑やかに遊ぶ・・・。

我々がロープを片付け始める頃のなっても、山登魂Pは再びリード練習を繰り返すようだ。治田さん「ヘッデンを用意してから登れよ」・・・これなら若手はどんどん鍛えられて行く筈だ・・・。若干の感慨を胸に帰路に着く。



写真左:リード練習をする佐藤女史。シッカリした登りで見ていても不安を感じさせない。立派なものだ・・・。

右:「カモシカルンゼ」全景。今年は右側に氷が着いていないのが残念だが、氷は十分に厚い。F2も良い状態のようだった。

「トリコルネ」をリードする小暮夫人。今シーズンから「リーシュレス」を使っているようだが、流石に良く登り込んでいる様子が垣間見られるスムーズなリード振りだった。この後、大田原さんも初めてのリードを果たしたようだ。隣から「治田さん」の励ましがありがたかった由・・・。お見事お見事・・・。